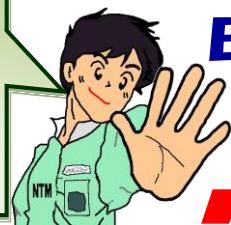


**私たちは許さない！
日航の子会社つぶし**



**日東整争議を
勝たせる会
NEWS**

No.013 2013.08.27

発行: 日東整争議を勝たせる会

連絡先: 航空労組連絡会事務局

〒144-0043 大田区羽田 5-11-4

フェニックスビル内

mail: honbu@kohkuren.org

TEL03-3742-3251 FAX03-5737-7819

第9回裁判 **裁判長、大西証人採用の意向を示す**

8月23日11時から東京地裁民事36部にて第9回裁判（証人申請など弁論準備）が行われました。原告側からは日航の大西賢会長はじめ原告など6名の証人申請を行っており、その採否を巡って議論が交わされました。席上、裁判長は大西賢会長を含む全員の採用の意向を示しました。これに対し、JAL側代理人は強く抵抗しましたが、裁判長は、どうして大西証人の尋問が必要かを詳しく説明し、むしろJAL側から大西証人の申請を検討するよう求めました。この日は証人の採否は最終的に決定せず、次回に持ち越されましたが、原告側申請証人の正式採用まで皆さまのご支援をお願いします。

8月22日には証人全員採用の 署名を提出し裁判所要請を行う

前日の22日にはこれまでに集まった「JAL大西賢会長をはじめとした証人全員採用」を求める要請署名を提出し、6名全員を証人採用するよう要請しました。署名は1万筆を目標に取り組み2ヶ月半の短い期間でしたが、6,625筆を集めることが出来、裁判所に対して5回の要請を行いました。ご協力いただいた皆さま有難うございました。

裁判前に地裁前で宣伝

報告集会に65名が参加

裁判（弁論準備）を前に、10時より40分間東京地裁前で宣伝行動（街宣・ビラ配り）を行い、東京争議団 斎藤副議長、大田区労協 小林事務局次長、日航ユニオン 藤枝委員長、JAL不当解雇撤回乗員原告団 山口団長から連帯の挨拶を頂きました。有難うございました。

また、裁判の後、11時半より12時まで弁護士会館で報告集会を行いました。地裁前での宣伝行動、報告集会には延べ65名の参加がありました。暑い中、有難うございました。

6人はいずれも真実解明の為に 重要で必要な証人

原告からの証人については、日本航空会長の大西賢氏はじめ6名を申請していました。大西氏は、JAL・JAS統合の2002年から2007年まで被告JALの整備本部企画室部長の地位に就いていました。整備企画室はJALの整備体制を構築する部署であり、将来にわたり整備をどのような体制（組織体制）で実施していくのかを決める部署です。整備

企画室では、自社（JAL・JAS 本体）と子会社（JALTAM、JALNAM、JALJET、JAT、日東整など）の整備部門について、その再編を検討していましたが、大西氏はその検討部署の責任者でした。

また、長い間日東整労組で書記長を務めた野口幸博氏、会社の不当労働行為文書の入手について証言する元日航ユニオン書記長の坂井雄二氏、JALECの整備実態を証言する日航ユニオン委員長の藤枝稔直氏、そして当該の泉聖二氏と佐藤二郎氏です。6人はいずれも真実を明らかにするには必要な証人です。だからこそ、裁判所は全員の採用の意向を示したのです。JAL側は裁判所の意向を尊重し、大西証人の出廷を了解すべきです。

裁判長は大西会長はじめ

6人全員の証人採用を

裁判長は、本日の弁論準備では原告側の証人を含む全証人を採用する方向を示したものの、最終的な結論は次回に先送りしました。

裁判所には日東整を整備の統合計画から外した日航整備本部企画室部長であった大西証人をはじめ6人全員の証人採用を行い、真実を明らかにすることを求めています。

次回裁判はいよいよ証人が決定

次回＝第10回裁判（弁論準備）

10月1日（火）10:00～民事36部（13F）

非公開となり、争議対策会議メンバー中心の入室になりますが、多数の参加をお願いします